

第79回 近畿数学教育学会例会プログラム

日時：2026年2月8日（日）

会場：兵庫教育大学 神戸キャンパス

9:30 - 10:00 受付
10:00 - 10:10 開会行事

研究発表 20分、質疑 10分

座長 渡邊慶子（滋賀大学）

10:10 - 10:40

A1. 算数がわかるということ

四天王寺小学校 瀬田 真裕美

座長 吉川昌慶（兵庫教育大学）

10:10 - 10:40

B1. (発表取消)

10:45 - 11:15

A2. 探究活動における生徒の課題設定の困難性に関する研究

: 高校1年生に対するアンケート結果の分析より
奈良教育大学大学院生 徳岡 美咲

10:45 - 11:15

B2. 算数科における模倣の意義に関する研究

: 小学校第5学年における小数の乗法の筆算に関する事例分析を通して
島根大学大学院生 松本 翔太

11:20 - 11:50

A3. 算数科における実践者による理論生成の意義に関する一考察

: M-GTAにより生成された理論が実践に与えた影響の分析を通して

島根大学大学院 下村 岳人
松江市立法吉小学校 下村 早紀
神戸大学大学院 岡部 恭幸

11:50 - 13:20 昼休憩

13:20 - 14:00

P1-1. (発表取消)

P3-3. 文字式証明における構想と理解の二軸モデル

兵庫教育大学 吉川 昌慶
兵庫教育大学大学院生 津田 考基

P1-2. 分数的学習における Reasoning up and down の扱いの実際

: 算数教科書の分析をもとに 島根大学大学院生 升谷 有里

P1-3. 数学的探究を通して学びに向かう生徒の育成に関する研究

: action proof を利用した教材の提案 兵庫教育大学大学院生 上村 裕之

P1-4. (発表取消)

14:00 - 14:40

P2-1. Lobato らの研究を理論的視座とした児童の比例的推論に関する一考察

: 第4学年から第6学年の調査分析を通して 島根大学大学院生 矢萩 陽介

P2-2. 整数倍場面に関する数量関係の把握を目指した学習指導の提案

: ルーティンの変容に着目して 島根大学大学院生 中畑 茉緒子

P2-3. 通信制高校数学Iにおける対話的・協働的な学びによる自己調整力の育成

: パターン・ランゲージを用いた試み 兵庫教育大学大学院生 相賀 勇人

P2-4. 塵劫記はなぜ長寿のテキストたり得たか？

: 数学的文化化のキュラム論を踏まえて 滋賀県和算研究会 中西 隆

14:40 - 15:30

P3-1. 柱体の底面理解調査：教科書比較を通して

武庫川女子大学学部生

坂本 もも

武庫川女子大学学部生

上根 夏希

P3-2. 幼児の図形概念理解の発達とその深化への示唆

神戸大学大学院生

大安 沙織

P3-4. (発表取消)

P3-5. ワーキングメモリに配慮した算数文章題指導の実践

: 小学3年生の女子児童に適した指導とは

武庫川女子大学学部生

西澤 実空

座長 奥村真善美 (甲南大学)

15:40 - 16:10

A4. 数を構成する単位への意識を促す言葉の使用に関する一提案

: 単元・領域をまたぐ見方・考え方に焦点を当てて

大和高田市立磐園小学校 土井 孝文

座長 和家祥一 (大阪市立友渕中学校)

15:40 - 16:10

B4. 中学校数学科教科書における授業導入文言に関する考察

大阪教育大学大学院生

木村 憲太郎

16:15 - 16:45

A5. 小学校算数科における定義活動の多様性とその役割

滋賀大学大学院生 井手 駿真

滋賀大学 渡邊 慶子

16:50 - 17:00

閉会行事